



学校(学科)情報

令和9(2027)年度入学者選抜用(定時制課程)

学校名	とちぎけんりつもおかこうとうがっこう		所在地 及び アクセス	〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘 24 番地 1	
	 栃木県立真岡高等学校				
課程	生徒数 (R8.5.1現在)	設置学科	電話	0285-82-3413	
定時制課程	69人 男 39人 女 30人	普通科	学校HP	https://www.tochigi-edu.ed.jp/moka/nc3/	
スクール・ミッション	一人一人の個性を育てるきめ細やかな教育活動を通して、地域を支える人材を育成する学校				
スクール・ポリシー	<p>【グラデュエーション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような資質・能力を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身を養い、基本的な生活習慣を確立して自己管理ができる力を育成します。 ・他者を思いやり、互いの個性と行動を認め合いながら協働する力を育成します。 ・将来を見据えた進路選択ができる力と目標に向かって真摯に取り組む態度を育成します。 <p>【カリキュラム・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような教育活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育機会を提供し、互いに学びあいながら達成感や充実感を高められる教育活動を実践します。 ・生徒一人一人の自己実現や進路実現を支援し、将来の地域社会の発展に寄与する態度を養う教育活動を実践します。 <p>【アドミッション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような生徒の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会や学校のルールを守り、毎日の学校生活に意欲的に取り組む生徒 ・本校での学びに強い意欲・関心を持ち、自己実現のための努力を続けられる生徒 				
その他特記事項	なし				

入試情報(全般)

学力検査と調査書の 評定等の比重	学力検査(学力点)						調査書の評定 (調査書点)	面接 (面接点)	作文 (作文点)
	国語	数学	英語	社会	理科	計			
一般選抜	100	100	100			300 [33%]	300 [33%]	300 [33%]	—
選抜の手順等	<ul style="list-style-type: none"> ・面接及び学力検査結果を重視し、調査書等を活用して選抜する。 ・面接で見取った内容については、「面接の評価表【別表3】」を基に評価する。 ・その他、選抜の詳細については、令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則のとおり。 								
第2志望の志願等									
合格者発表	日時	令和9年3月12日(金)午前10時から							
	場所	本校駐車場							
	その他	入学予定者説明会を、3月26日(金)15時30分から実施する。							

一般選抜入試情報

選抜の方法	・学力検査(国語、数学、英語)、個人面接								
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書 ・調査書 ・その他必要な書類 								
検査当日の日程	2月24日(水)						備考		
	受付	8:20~8:40					<ul style="list-style-type: none"> ・海外帰国者、外国人等の措置を受ける場合には、日程を別途連絡する。 ・面接の開始時刻及び終了時刻は受検者によって異なるので、受検票の印刷時の諸連絡でお知らせする。 		
	諸連絡等	9:00~							
	国語	9:35~10:25							
	数学	10:50~11:40							
	英語	12:05~12:55							
	個人面接	13:50~							
傾斜配点	実施しない								
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたもののほか、〇〇を持参すること。								
検査実施に係る その他の事項									

【別表3】面接の評価表

評価の観点		
ア 自己を変容させる力	イ 自己の人生を設計する力	ウ 社会的課題に関する知識や理解力
評価規準		
自らの過去から現在に至る言動や行動が俯瞰できている（自己認識）。また、自身の成長のために改善すべき課題が明確であり、将来の行動（学び続ける姿勢）につなげることが期待できる。	将来の目標が具体的に設定されている。さらに、目標達成のために高校で何を学び、どのような努力をするかが明確であり、進路先での学びと将来の目標が関連づけられている。	日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い知識を有している。また、様々な情報や考えを的確に理解したり、自らの言葉で伝えたりすることができる。
評価基準		
「優秀であると評価できる」状況 自らを成長させるための言動や行動を常に見直しながら、目標に近づく方策を考えて能動的に行動することが期待できる。	「優秀であると評価できる」状況 明確な将来の設計力と高等学校での学びの目標を併せ持ち、主体的に努力できる資質を有している。	「優秀であると評価できる」状況 社会の出来事に一定の関心と知識を有している。また、それらに対する多面的な見方や考え方を持って問題解決に臨もうとする姿勢を見ることができる。
「優良であると評価できる」状況 自らを成長させるために適切な言動や行動を常に見直そうとする姿勢が期待できる。	「優良であると評価できる」状況 明確な進路意識を持ち、他者の意見も参考にしながら進路を決定する資質を有している。	「優良であると評価できる」状況 社会の出来事に一定の関心と知識を有しており、自らの考えや意見を述べるができる。
「今後の努力を要する」状況 自らを成長させるために目標をたてる行動をあまり期待することができない。	「今後の努力を要する」状況 進路意識を明確に持つことができず、十分な職業観も持ち合わせていない。	「今後の努力を要する」状況 社会の出来事への関心や知識が乏しく、また自らの見方や考え方も有していない。
面接点の算出方法		
それぞれの観点について、3段階で段階評価する。 2人の評価者の段階評価から総合したものを基に、300点満点で面接点を算出する。		